

七小校長室便り

国立市立国立第七小学校

校長室便り No.3 令和2年(2020年)9月14日

「校長先生、お久しぶりです！」・・・すてきな挨拶をありがとう！

8月17日、始業式の日。校門のところで出迎えた私に、「校長先生、お久しぶりです！」と満面の笑顔（マスクをしていてもそれは分かります！）で挨拶をしてくれた女の子たち。これは私にとって、サプライズプレゼントでした。

「すすんで あいさつをしよう」は、年間生活目標の一つです。このところの「新しい生活習慣」は、声を出すということに神経質にならざるを得ないため、やや挨拶の声も小さくなりがちで、それは多少仕方のない面もあるかと思っていました。でも、こんな挨拶に出会うと、やっぱり「あいさつは魔法の言葉」だと実感します。心が弾むのです。他にも私の前まできちんと来て立ち止まり、「校長先生、おはようございます」と深々と頭を下げってくれる子、「おはようございます、いつもありがとうございます」と言ってくれる子、「こう言いなさい」と教えられたのではなく、何かのきっかけでそうしようと決意し、それを実行してくれていることに、子供ってすてきだなあ、と改めて感じています。



そうそうこの前は、「校長先生、すみません、遅くなりました」と涙ぐんで登校した子もいました。15分より前でしたので、「大丈夫よ！間に合っているから！そんなに時間を気にしてくれて素晴らしいわね」と答えましたが、そこまで気にしてくれることを嬉しく思うと同時に、申し訳なくも思いました。朝のモジュール授業も、比較的順調な滑り出しですが、お子さんによっては朝の支度に時間がかかり、あわただしいスタートになる様子も見受けられます。モジュール授業は8時20分開始です。低学年や、支度が遅いかな、というお子さんの保護者の方は、10分には校舎内に入れるよう、ご協力いただけるとありがたいです。

子供たちの成長の場を！ 2学年合同で体育的行事を行います

様々な行事が学校でも、地域でも中止にせざるを得ない状況が続いている中ですが、行事を通して子供たちが大きく成長することを思うと、何とか現状の中でも可能な形態でできることはないか模索してきました。

その結果、10月下旬に2学年合同（1・6年、2・4年、3・5年）で2時間程度の体育的行事を実施しようと決め、準備を始めました。3日間に分け、短距離走、団体競技、表現活動を1日2学年ずつ行いますが、三密は必ず避ける、簡易な内容にして練習が過重負担にならないようにする（例えば短距離走では順位はつけない）などに留意しながら細部を一つ一つ詰めています。

現在の感染状況（小学生は家庭内感染の率が高い）や、本校校庭の状況（現在外周の塀工事を行っていて、校庭のスペースが狭められている。工事終了は12月上旬予定）から、とても残念なのですが、保護者の方々の参観は断念しました。お家でのお子さんのお話をたくさん聞いていただくなどのフォローをしていただければ幸いです。

ふと気付いたら、こんなすてきなことが・・・国立駅にて

帰宅時、中央線上りホームにいたときのこと。ここのホームにはたまに武蔵野線に入って大宮に行く「むさしの号」が来るので、知らずに来た電車に焦って飛び乗るとひどい目に合います。その日も、むさしの号が次にやってくることを電光掲示板で確認し、その下段に流れる文字を見るともなしにぼーっと見上げていました。すると、「国立駅のつばめたちからのお礼」と、違和感のある文字が流れ出しました。

「今年も無事巣立ちをすることができました。子育て期間中に中央改札付近の頭上を飛び回っても皆さまに温かく見守って頂いて嬉しかったです。また来年も戻ってきますのでよろしくお願いします。」とのこと。粋な計らいに足取りも軽くなり、帰路につくことができました。他のホームでも出てくるのかもしれませんが。いくつかのCMや事故・遅延情報なども流れているので、見るのができたときには得したような気分になること、請け合いです。（PS 少し日が過ぎたので、もうやっていないかもしれませんが・・・）

